

## しげのぶ清流園地域連携推進会議議事録

- 1 日 時 令和6年11月26日(火) 13:30~15:00
- 2 場 所 しげのぶ清流園多目的室
- 3 出席者 **【構成員】**  
田邑一郎、白石雅弘、中川善文、宮崎修次、相原宗正、二宮美香  
**【施設職員】**  
森脇信介、鷹尾健介、森本孝幸、野中三世

愛媛県社会福祉事業団地域連携推進会議規程第3条第2項に規定する定数を満たしていることを確認し、同規定第3条第3項の規定に従い、議事進行を園長が行う。  
最初に同会議の目的について、厚生労働省の「地域連携推進会議の手引き」等を使用して園長が説明する。

### 4 議 案

- (1) 施設の状況について
  - ・施設の概要について
  - ・利用者や活動、行事等の状況について
  - ・運営状況について
- (2) 利用者の権利擁護について
  - ・事故発生状況について
  - ・虐待防止について
- (3) 施設と地域の連携について
- (4) その他

鷹尾介護課長 議案(1)施設の状況について、施設の概要や利用者、活動及び行事等の状況を説明する。

- ① 愛媛県社会福祉事業団について
  - ・法人施設の紹介
  - ・職員の職種、福利厚生
  - ・サークル活動
- ② しげのぶ清流園の施設理念について
- ③ しげのぶ清流園の施設入所支援利用者の出身地、年齢、利用期間、障がい原因、障がい支援区分について(令和6年11月1日現在)

- ・ 出身地は松山市 13 名、他市 20 名、郡 7 名
- ・ 平均年齢は 58 歳 5 ヶ月
- ・ 平均利用期間は 11 年 0 ヶ月
- ・ 一番多い障がい原因は脳性麻痺 17 名
- ・ 平均支援区分は 5.6

- ④ しげのぶ清流園の生活介護、短期入所、放課後等デイサービスについて（定員、サービス内容、対象者等）
- ・ 定員は生活介護 55 名、短期入所 5 名、放課後等デイサービスは重心型で 5 名
- ⑤ しげのぶ清流園の職員について（職種等）
- ・ 総務課：園長、事務員、栄養士、調理員
  - ・ 介護課：サビ管、看護師、介護職員、リハビリ職員、嘱託医
- ⑥ しげのぶ清流園の日中活動、年間行事について（季節の行事等）
- ・ 季節の行事は、ひなまつり、お花見、運動会、七夕、夏祭り、敬老お祝い、クリスマス会、新年会、節分等

野中主査

議案（1）施設の状況について、しげのぶ清流園の令和 5 年度運営状況を説明する。

- ① 収入は、315,337,976 円
- ② 人件費は、227,422,038 円
- ③ 施設建設・改修等積立資産として、6,006,000 円
- ④ その他の支出も合わせて収支差は、6,952,018 円

森本介護係長

議案（2）利用者の権利擁護について、令和 6 年度（10 月末までの事故発生状況と虐待防止の取組みを説明する。

- ① 事故発生件数と事故発生時間帯、事故の内容、事故発生場所、事故の要因、事故発生部署について
  - ・ 事故発生件数は 41 件
  - ・ 一番多い事故発生時間帯は 12:00～18:45 で 14 件
  - ・ 一番多い事故の内容は、転倒・転落と投薬・誤薬が同数で各 14 件
  - ・ 一番多い事故発生場所はリビングで 14 件
  - ・ 一番多い事故の要因は職員の確認・注意不足で 30 件
  - ・ 一番多い事故発生部署は施設入所支援事業で 34 件
- ② 障がい者虐待発生件数は 0 件
- ③ 虐待防止委員会について
  - ・ 月 1 回開催

- ・構成委員：園長、介護課長、看護師、介護員
- ・内容：全国的な虐待発生の件数や事例の確認、虐待防止研修の企画立案・実施等

④ 身体拘束適正化委員会について

- ・月 1 回開催
- ・構成委員：園長、介護課長、看護師、介護員
- ・内容：個別支援計画更新利用者を対象に身体拘束事項の有無を確認、加えて拘束にあたりそうな事案があれば、解除または一時的なものにならないか随時検討を行う。

森脇園長 二宮構成員	議案（3）施設と地域の連携について、各委員の考えを聞く 東温市役所にしげのぶ清愛園が野菜の販売に来ていて一般の人にも好評です。こういった活動を広げることが大切だと思う。
中川構成員	施設と地域の交流については、池田小学校の事件以降、防犯対策が厳格となり交流が難しくなっているように思われる。
宮崎構成員	南海トラフ巨大地震等の災害時に学校、施設、市役所等が連携できる仕組み作りが重要
森脇園長	11月17日、しげのぶ清流園としげのぶ清愛園は、「東温市福祉避難所設置運営訓練」を利用者や保護者、ボランティア、東温市と協力して行っている。 施設の周辺に市役所や病院、学校等の公共機関がたくさんあることは、災害発生時に情報等を迅速に得られるため安心である。
田邑構成員	新型コロナウイルスがある程度落ち着いて、少しずつ地域住民等と接することのできる行事が増えている。
白石構成員	新型コロナウイルスが流行してから面会等が制限され、子供の施設での生活が見えづらい状態となっている。 地震発生時に建物の倒壊等はないか心配である。
鷹尾介護課長	現在は家族等が来園した際に、利用者の現在の園での様子等を時間をとって説明するようになっている。
森脇園長	しげのぶ清流園は基準にのっとり頑丈に作られているため、地域で福祉避難所にも選ばれている。
相原構成員	現在の施設の防犯対策が今後緩和されることはないと考えられるため、それはそれで前提として受け入れて、地域で何ができるかを考えていきたい。支援学校で教師をしていた自分の経験からも、施設利用者は可能性にあふれている。
中川構成員	月に2回、施設の近くにある田窪集会所でカラオケや手品等のサロンを行っている。希望があればしげのぶ清流園の利用者さんも参加できますよ。

森脇園長

皆さん貴重なご意見を本当にありがとうございました。地域との交流等について、皆さんの意見を今後の園の運営に活かしていきたいと考えています。

森脇園長

議案（４）その他について説明

- ・ 会議全体を通して質問を受けるが、構成員からは特になし。
- ・ 12月7日にしげのぶ清愛園で行われる「収穫祭」を紹介
- ・ 今年度中に施設の見学会を開催する。来年1月末～2月初めを予定していて、構成員の皆さんには前もって連絡して日程調整を行う。

森脇園長

会議を閉会することを伝える。